

令和6年度事業報告

1. 受託事業（福井県から）

事業名	仕様(回数・期日)	内 容
■ 原子力広報対策事業		
広報誌 「あっとほうむ」 の作成	年3回発行 カラー4色刷 A4判6頁 247,000部	223・224・225号を発行。第7次エネルギー基本計画の策定、「使用済燃料対策ロードマップ」の見直しに関する関西電力㈱から県への説明、原子力総合防災訓練の実施、国の原子力政策に対する県の要望、原子力の諸課題に関する県の対応や事業者の取り組み状況、県内原子力発電所の運転状況、発電所周辺の放射能調査結果等をわかりやすく解説した。 原子力発電所立地および周辺9市町の全世帯に配布するとともに、嶺北市町へは新聞折込及び [※] スティングによる配布を行った。さらに県内の学校や公民館・関係機関にも送付したほか、各号の点字版と音声版を作成し、目の不自由な人たちにも配布した。また、スマートフォン用アプリから広報誌を配信した。
放射線体験教室・ 原子力講座等 の開催 (一般対象)	175回実施 館内教室77回 出張教室11回 原子力講座87回	広く県民に放射線の基礎知識を正しく理解してもらうため、放射線体験教室を館内で77回、出張で11回開催した。出張の地域別は福井地区1回、丹南地区6回、嶺南地区3回、奥越地区1回。参加者は館内教室が12,724人、出張教室が734人、合計13,458人。また広く県民に原子力の基礎知識を正しく理解してもらうための原子力講座を館内で87回開催し、参加者は10,309人。
講演会等の開催	11/4 3回実施	日本エネルギー経済研究所電力ユニット上級スペシャリストの村上朋子教授による「エネルギー選択の昔と今と、これからと」と題した講演会を11月4日(祝)の13時30分～15時に福井市で実施した。武生会場と敦賀会場は福井会場とオンラインで繋ぎ生配信した。また3月にオンデマンドで配信した。参加人数は3会場合計205人。 1)会場：地域交流プラザ、91人参加。2)会場：武生商工会議所、66人参加。 3)会場：原子力の科学館「あっとほうむ」、48人参加。
出張放射線企画展 の開催	3回実施	家族や若年層を対象に大型商業施設等で、霧箱による放射線の観察、測定器を使った自然放射線測定体験、模型を使った発電のしくみ解説、クイズ形式のパネル展示など、原子力と放射線について参加体験型の企画展を3回開催した。参加人数はサンドーム福井1,092人(丹南地区)、ラブリパートナーエルパ670人(福井地区)、エンゼルランド718人(坂井地区)、合計2,480人。
科学実験教室・ 工作教室の開催	135回実施	当館に来館した児童や生徒に対して、科学実験教室等を135回開催した。参加人数は合計9,775人。
放射線&エネルギー クイズラリーの実施	147回実施	親子を対象に放射線やエネルギーの基礎知識を学んでもらうクイズラリーを館内で開催のイベント時に147回実施した。参加人数は合計22,651人。
インターネット による情報発信	随時	ホームページで、県内の原子力情報や事業案内等を随時更新し提供した。また、広報誌や冊子、映像などを掲載した。
■ 原子力エネルギー学習環境づくり事業（学校対象）		
エネルギー 学習バスの実施	94件実施 (126台)	当センターと県内エネルギー関連施設を見学した県内の小中高等学校94件に対しバス借上げ料金の一部を補助した。対象別内訳は、小学校91件、中学校1件、高等学校2件。地域別では、福井地区33件、奥越地区1件、丹南地区28件、嶺南地区32件。参加人数は合計4,505人。
放射線体験教室等 の開催	64回実施 館内教室41回 出張教室23回	県内の小中高等学校を対象に、放射線体験教室を館内で41回、出張で23回開催した。基礎知識セミナーと霧箱装置を使った放射線観察や測定器を使った自然放射線の測定体験および遮へい実験などを実施した。出張の地域別は福井地区5回、坂井地区4回、丹南地区6回、嶺南地区8回。参加人数は、館内教室が1,171人、出張教室が1,614人、合計2,785人。
エネルギー 体験教室の開催	55回実施	県内の小中高等学校を対象に、いろいろな発電模型を使ったエネルギー体験教室を館内で55回開催した。参加人数は合計2,716人。

■ エネルギー学習教室実施事業		
再生可能エネルギー 探求学習事業の開催	125回実施	展示館エリアにおいて、各ブースの展示物の解説やエネルギー工作教室等を休日および夏休みに125回実施した。参加人数は合計36,509人
再生可能エネルギー 学習教室の開催	177回実施	エネルギーについて正しく理解してもらうため、当館に来館した親子を対象に、再生可能エネルギーに関する実験や模型などを通して学習する体験教室とクイズラリーを館内で177回開催した。参加人数は合計25,480人。
巡回エネルギー 広報事業の開催	7回実施	原子力・放射線・再生可能エネルギーについて基礎知識パネル等を製作し、県内の大型商業施設や道の駅等で、7回普及活動を展開した。地域別では、福井地区1回、奥越地区1回、坂井地区1回、丹南地区3回、嶺南地区1回来場者の人数は合計9,061人。
再生可能エネルギー 企画展の開催	3/15・16・20・22 ・23・25～30	春休み期間中に、再生可能エネルギーに関する工作教室やパネル展示、燃料電池で動く乗り物の試乗体験などを実施した。参加人数は合計10,044人。

2. 自主事業

事業名	仕様(回数・期日)	内 容
展示館デジタル サイエンス制作	一式	館内の各展示物から学ぶ学習ポイントや科学の原理について、QRコード形式の解説ガイドを制作し、各展示物に設置した。
原子力ニュース 解説通信	10回実施	原子力トピックスについて、わかりやすく解説したデジタルニュースをホームページで発信した。
カルチャー講座 の開催	11/4 3回実施	原子力講演会后、大人を対象としたカルチャー教室を3回実施した。 参加人数は合計189人。 1)会場：アオッサ、内容：ドライワラロボット、80人参加 2)会場：武生商工会議所、内容：プリアーブドライワラブック、63人参加 3)会場：原子力の科学館「あっとほうむ」、内容：ドライワラブック、46人参加
春休みイベント の開催	4/1～4/7	4月1～7日に、燃料電池ミニカーの試乗体験や科学工作教室、クイズラリーなどを開催した。参加人数は合計5,043人。
GWイベント の開催	5/3～5/6	ゴールデンウィーク期間に、エネルギーなどについて親子で体験学習してもらうイベントを開催した。参加人数は合計10,062人。
夏休みイベント の開催	7/14	エネルギーや電気、放射線などについて親子で体験学習してもらう教室を開催した。参加人数は合計2,928人。
こどもの広場 の開催	10/27	原子力の日に因み電気事業者4社と共催で体験学習イベントを開催し、原子力・放射線チャレンジひろばやエコ・サイエンスショーなどを実施した。参加人数は2,803人。
SNSサイエンス 情報配信事業	通年	FacebookやInstagramなどSNSを利用して、科学に関するミニ情報やイベント情報、来館者情報などを毎週配信した。
各種広報機関および 科学館との連絡会 の開催	3回実施	県内4立地市町と4電気事業者の原子力広報担当者との連絡会を開催し事業運営等の連携を深めた。また、全国科学館連携協議会北信越ブロック会議を当館で開催し、同地域にある科学館との連携促進を図った。